

# サーブスィノベーション2022

## 模範事例92件を公表

産業協議会  
サービス協  
生産性

日本生産性本部のサーブスィノベーション2022を公表した。

「日本のサーブスィノベーション2022」は、サーブスィノベーションの生産性向上に資するため、同協議会での活動(日本サーブスィノベーション)

日本版顧客満足度指数調査など)を通じて得られた多様なサーブスィノベーションの中から、模範事例のサーブスィノベーションの最前線事例をまとめたもので、第4回日本サーブスィノベーション委員会委員長を務めた村上輝康・産業戦略研究所代表が監修した。

選定された事例の総

数は、昨年12月に発表された「第4回日本サーブスィノベーション」の表彰事例30件を含め、92件。コロナ禍の直撃を受けた厳しい経営環境の下

でも、決して受け身にならず、決意を持って取り組む大企業や、挑戦的なスタートアップなど、サーブスィノベーションの発展を先導する優れた取り組みが紹介されている。

を立ち上げているベンチャー、スタートアップなど、サーブスィノベーションの発展を先導する優れた取り組みが紹介されている。

監修を務めた村上輝康氏は、「2022年は、人口が持続的に減少する中で新型コロナウイルス危機に抗しなければならなかった日本のサー

ブスィノベーションにとって、このまま持続的なマイナスイノベーションに甘んじるか、それとも、サーブスィノベーションの改革と革新、そして創造を通じて新たな日本経済の姿を模索するかという、分水嶺の年であった。その年に、敢えて改革・革新・創造への道を選択した『日本のサーブスィノベーション2022』に選定された企業が、志の高いパーパスを掲げて、生活者や企業、社会に対して価値共創を仕掛ける姿を、産業全体の

随所に見出すことができ、日本経済の再興に繋がる学びと勇気の源泉になるものと確信しています」とコメントしている。

事例は、サーブスィノベーション生産性協議会のホームページ (<https://www.service-js.jp/>) で公開されています。

5月20日付で「『令和臨調のつどい』特別号」(6ページ)を発行します。

www.service-js.jp  
p)で公開されています。  
お知らせ

5月20日付で「『令和臨調のつどい』特別号」(6ページ)を発行します。

お知らせ

第7回生産性シンポジウム	2
「地域発/現場検証」シリーズ	3
神奈川特集	4~5
サーキュラーエコノミーを創る	6
生産性を高めるビジネス	8